

RaspberryPi でのサーバ構築、及び Twitter 連携、及び Web カメラでの Stream 配信 20811179 杉浦 綾

「名刺サイズのマイコン」と呼ばれており、環境さえ整えれば簡単に Linux 環境を導入できる RaspberryPi を利用して、どういった事が出来るのかという考え、以下のことを実行してみた。

1-1 : Raspberry Pi でサーバーを構築する

Raspberry Pi には Raspbian という Debian 系のディストリビューションを利用した独自の OS をインストールすることが出来る。

故に、OS を入れる状態にする環境にするため、メモリーカードや USB キーボード、USB マウス、HDMI ケーブル、液晶モニタを用意した。

1-2 : ディストリビューションの導入

ディストリビューションの導入。Debian 系であるため、さくさく導入が入った。

2-1 : Raspberry Pi に Ruby を導入

一番手がかかったとも言える部分。

Rbenv を入れてから元々入っている 1.9.3 から 2.0.0-p356 にアップデートを行った。

2-2 : Ruby Twitter Gem の導入、Twitter に投稿

API の仕様が変わったため、developer サイトを確認しながら行った。

http://twitter.com/naka_dev

Ruby Twitter Gem のお陰でつぶやきはとても楽に導入、投稿できた。

3-1 : Raspbian を GUI 環境にする

USB ポートを Web カメラを接続、GUI 環境にしないと Web カメラを認識しないため、GUI 環境を整える。

しかし、startic で GUI が起動するためとても簡単に GUI 環境の導入が上手く行えた。

3-2 : Web カメラの設置

Web カメラを Raspberry Pi に接続、確認。

必要なパッケージのインストール。利用していた本のサイト URL が変わっていたので検索しながらリポジトリを導入。

ブラウザで Web カメラが動いていることを確認

<http://berry.rye.tama.ac.jp:8080>

